

令和 6 年度事業報告書

(自 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 至 令和 7 年 3 月 31 日)

1	調査・研究事業……………	1-2
2	普及啓発事業……………	2-3
3	教育研修事業……………	3-5
4	リウマチ財団登録医養成事業……	5
5	リウマチ専門職制度事業……………	5
6	災害時リウマチ患者支援事業……	5-6
7	法人賛助会員セミナーの開催……	6
8	厚生労働大臣感謝状の贈呈……………	6
9	理事会等の開催状況……………	6-7
10	物故者……………	7
11	総務報告……………	7
12	附属明細書……………	7

令和 6 年度事業報告

1 調査・研究事業

調査研究事業については、リウマチ性疾患の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する広範な調査・研究の助成等を行った。

(1) リウマチ性疾患に関する調査・研究の助成

① 令和 6 年度リウマチ性疾患調査・研究助成（資料－1 頁）

リウマチ性疾患の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する調査研究について、各 100 万円の助成を行った。

助 成 者	所 属	研 究 題 目
辻 英輝	京都大学医学部附属病院 助教	HLA クラス II 分子機能の解析による特発性炎症性筋疾患の自己抗体産生機序の解明
村岡 成	東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野 院内講師	CD13/B1R を介する強皮症間質性肺炎病態形成の分子機構の解明と、その阻害による新規治療開発

② 第 11 回塩川美奈子・膠原病研究奨励賞（資料－1～2 頁）

調査・研究助成のうち、膠原病の領域で特に優れた 1 件を選考し、100 万円を助成した。

助 成 者	所 属	研 究 題 目
白柏 魅怜	京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科 特定病院助教	ANCA 関連血管炎を鼻腔細菌叢と免疫細胞で再分類する

(2) 令和 6 年度日本リウマチ財団リウマチ医学賞の授賞（資料－2～3 頁）

リウマチ性疾患の本態解明、治療法の開発に関する分野に大きく寄与した独創的な研究を顕彰し、助成することを目的とする「日本リウマチ財団リウマチ医学賞」1 課題を選考し、賞金 200 万円を授与した。本年度新たに創設した賞である。

助 成 者	所 属	研 究 題 目
藤尾 圭志	東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギー・リウマチ学 教授	機能ゲノムコホート解析による自己免疫疾患の病態解明

(3) 令和 6 年度日本リウマチ財団リウマチ福祉賞の授賞

リウマチ性疾患に悩む患者に対して、永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人又は団体を表彰することを目的とする「日本リウマチ財団リウマチ福祉賞」（賞金 20 万円）を授与した。

氏 名	所 属
馬渡 徳子	社会福祉法人洋和会ほのみこども園 ソーシャルワーカー

(4) 令和6年度日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰の授与（資料－3～4 頁）

リウマチ性疾患に関わるリウマチ専門職として、継続的にリウマチ性疾患に対する医療・ケアの向上に貢献したことを讃え、その功績を積極的に社会・国民に発信するため、「日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰」（各10万円）を授与した。

表 彰 者	所 属	実践活動・教育活動・研究課題
看護師： 横山 里子	青木内科クリニック	関節リウマチ患者とのコミュニケーションを重視し、医師や医療スタッフと共に患者に寄り添い続ける また関節リウマチ患者で見落とされがちな足趾の不調や病変に対するフットケアの実践と普及活動の実践
薬剤師： 眞部 実穂	京都きづ川病院 医療技術部薬剤部門 主任補佐	関節リウマチ患者の服薬アドヒアランス改善に向けた薬剤管理と服薬アドヒアランスに影響する因子の検討
理学療法士： 島原 範芳	道後温泉病院 リウマチセンター リハビリテーション科 副科長兼係長	リウマチ性疾患のリハビリテーション（理学療法、関連する研究及び論文発表・養成校の講義・地域住民への講演会・人材育成）等

(1)～②及び(2)～(4) の各賞については、5月10日に厚生労働記者会及び厚生日比谷クラブ、本町記者会に、各賞の趣旨や功績等の資料を提供することにより広報を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関紙「日本リウマチ財団ニュース」の発行

リウマチ性疾患に関する診療技術や専門的知識向上の支援及び適切かつ迅速な情報の提供を目的として発行し、リウマチ財団登録医を主にリウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士等へ行う普及啓発の一翼を担うものである。

名 称：「日本リウマチ財団ニュース」第184～189

部 数：年6回発行、各約3,100部（他、電子配信約2,300）

配布先：リウマチ財団登録医、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士、賛助会員、関係機関等

(2) 令和6年度リウマチ月間啓発ポスターの印刷・配布

制作数：8,800部（1種類、A3サイズ）

配布先：リウマチ財団登録医、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士、保健所、市町村保健センター、患者団体等

(3) 令和6年度リウマチ月間リウマチ講演会（リウマチ専門職教育研修会）の開催（資料－4～6 頁）

メインテーマを「多職種連携チームで届ける最適なリウマチ医療」と掲げ、教育研修の充実はもとより、リウマチ性疾患の征圧に向けた普及啓発をより一層図ることを目的に実施した。

日 程：令和6年6月2日（日）

場 所：都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

形 態：ハイブリッド開催（会場開催及びWeb配信）

委員長：富田 哲也 日本リウマチ財団常務理事

森ノ宮医療大学大学院保健医療学教授

後 援：厚生労働省、日本リウマチ学会、日本整形外科学会、日本臨床リウマチ学会、日本リハビリテーション医学会、日本医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、全国保健師長会、日本看護協会、日本理学療法士協会、全国病院理学療法協会、日本作業療法士協会、日本介護福祉士会、全国訪問看護事業協会、日本リウマチ友の会

(4) リウマチ情報センターの運営（資料－7 頁）

医療情報委員会において、インターネットにより日本リウマチ財団情報、患者さん・一般向け情報、医療関係者向け情報の提供を充実させるため、ホームページの顔となるトップページの構成とコンテンツを簡素化し、反応が多かったページの情報を手厚くした他、患者さん・一般向け情報では情報伝達の有効的手段として多くのイラストを採用した。（令和6年度閲覧数：4,044,931件、公式Xフォロワー数：463）

(5) 医療保険部会において、リウマチ医療全般の質的向上のため、診療報酬に対する諸問題の検討を行った。

3 教育研修事業

(1) リウマチの治療とケア教育研修会の開催（資料－7～14 頁）

リウマチ財団登録医やリウマチ診療に従事する医師、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士、メディカルスタッフ等を対象とし、全国6地区6会場で実施した。参加者数は、延べ564人（登録医51人、一般医36人、大学院生1人、登録看護師177人、登録薬剤師77人、登録理学・作業療法士28人、メディカルスタッフ194人）であった。

(2) 第25回RAトータルマネジメントフォーラムの開催（資料－14～15 頁）

各地区で行ったリウマチのケア研究活動の中から優秀な演題を発表し表彰するため実施した。参加者数は、567人（医師36人、看護師314人、薬剤師115人、理学療法士57人、作業療法士38人、その他7人）であった。

(3) リウマチ医（リウマチ財団登録医）の会の開催（資料－16 頁）

「都道府県リウマチ登録医の会の指定について（平成3年運営委員会決定）」に基づき、リウマチ財団登録医等リウマチ診療に従事する医師を対象に15回実施し、参加者数は述べ605名であった。

(4) 財団主催以外の教育研修会への教育研修単位付与

- ① 医師を対象とした教育研修単位の認定件数は、343 件であった。
- ② 看護師を対象とした教育研修単位の認定件数は、340 件であった。
- ③ 薬剤師を対象とした教育研修単位の認定件数は、329 件であった。
- ④ 理学・作業療法士を対象とした教育研修単位の認定件数は、296 件であった。

(5) 海外派遣医制度（資料－16～17 頁）

学術助成委員会において、「海外派遣医募集要項」に基づき、若い優れたリウマチ専攻医 3 名を海外に派遣した。奨学金は各 100 万円である。

[米 国] 1名

氏 名	専 門	所 属	研 修 先	指 導 者
高見 賢司	整形外科 リウマチ科	日本生命病院 整形外科 医長	University of Maryland School of Medicine	Satoru Otsuru

[欧州] 2名

氏 名	専 門	所 属	研 修 先	指 導 者
安東 泰希	リウマチ科	順天堂大学医学部 膠原病内科 助手	ドイツ CECAD Reseach Center, University of Cologne	Prof. Dr. Hamid Kashkar
高梨 敏史	内科 リウマチ科	慶應義塾大学 医学部リウマチ・膠 原病内科 特任助教	オランダ Leiden University Medical Center, Department of Rheumatology	Prof. Annette van der Helm-van Mil Prof. Thomas Huizinga

(6) 日欧リウマチ外科交換派遣医制度（資料－17 頁）

「日欧リウマチ外科交換派遣医制度要綱」に基づき、日欧のリウマチ外科医療の発展に寄与する人材育成に向けて、交換留学の機会の提供等の検討を行った。

(7) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表の助成（資料－17～18 頁）

学術助成委員会において、「国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対する助成要綱」に基づき、若手の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士である研究者等に対して助成を行った。

調査・研究発表題目	氏 名・所 属	調査・研究 発表学会
当科が構築した自己免疫疾患患者及び健常人の末梢血より分取した免疫細胞の遺伝子発現データベースである ImmuNexUT を用いて、低疾患活動性にある SLE (LLDAS) 患者の予後追跡調査を行ったところ、interferon signature が亢進している患者ではリンパ球において酸化リン酸化と細胞周期経路の亢進を伴い、再燃を来しやすいことを明らかにし、今学会で報告する予定である。	安部 樹 東京大学大学院 医学系研究科内科学専攻 アレルギー・リウマチ学 大学院生（博士課程 3 年）	EULAR2024

調査・研究発表題目	氏 名・所 属	調査・研究 発表学会
THE ROLE OF CX3CL1/CX3CR1 AXIS IN THE PATHOGENESIS OF ANTI-MELANOMA DIFFERENTIATION-ASSOCIATED GENE 5 ANTIBODY-POSITIVE DERMATOMYOSITIS	納田 安啓 京都大学医学部附属病院 膠原病免疫内科 医員	EULAR2024
(1)Chronic Kidney Disease Is Associated with Increased Glucose Uptake-associated Metabolic Activity of Visceral Adipose and Subcutaneous Adipose Tissue in Gout Patients (2)Analysis of Short-Term Side Effects Following COVID-19 Vaccination in Pregnancies Complicated by Autoimmune Inflammatory Rheumatic Diseases	金下 峻也 京都府立医科大学大学院 医学研究科免疫内科学 病院助教	ACR2024
Phosphodiesterase 1B Contributes to Neuropsychiatric Manifestations in Lupus-Prone Mice Through Microglial Activation	竹山 脩平 北海道大学大学院 医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室 医員（大学院生）	
(1)Associations Between Immune Checkpoint Molecules and Nasal Microbiome in ANCA-associated Vasculitis(口演) (2)Disease Duration Differentially Affects the Clinical Efficacy of Biologics and JAK Inhibitors in Rheumatoid Arthritis :The ANSWER Cohort Study(ポスター) (3)Cytosporone B, a Selective Agonist of Nr4a1, Inhibits Th17 Differentiation and Alleviates Experimental Arthritis in SKG Mice(ポスター)	中山 洋一 京都大学大学院 医学研究科臨床免疫学 研究生	

4 リウマチ財団登録医養成事業（資料－18 頁）

リウマチ専門職委員会において、令和 6 年度新規リウマチ財団登録医 43 名の審査及び登録とリウマチ財団登録医資格更新 628 名の審査及び登録を行った他、令和 7 年度新規リウマチ財団登録医の申請受付を開始した。

5 リウマチ専門職制度事業（資料－18～19 頁）

リウマチ専門職委員会において、令和 6 年度新規リウマチケア看護師 68 名の審査及び登録とリウマチケア看護師資格更新 111 名の審査及び登録、ならびに令和 6 年度新規リウマチ財団登録薬剤師 20 名の審査及び登録とリウマチ財団登録薬剤師資格更新 150 名の審査及び登録、そして令和 6 年度新規リウマチ財団登録理学・作業療法士 8 名の審査及び登録とリウマチ財団登録理学・作業療法士資格更新 87 名の審査及び登録を行った他、令和 7 年度新規リウマチ財団登録理学・作業療法士の申請受付を開始した。

6 災害時リウマチ患者支援事業（資料－19～20 頁）

リウマチ性疾患の治療には生物学的製剤等、他の疾患では使用しない医薬品が多い

ことから、大規模災害発生時に患者さん自身がどのような医薬品を使用しているか分かるように、ホームページに「私のお薬は?」、「予期せぬ災害—そのときに」等を掲載し、患者支援を行った。

7 法人賛助会員セミナーの開催（資料-20 頁）

第7回法人賛助会員セミナーを11月5日（火）に開催し、村島理事による講演「添付文書の「妊婦・授乳婦の項」に関する課題と展望」や講演後に実施した質疑応答や意見交換等を通じて、法人賛助各社に各種事業活動への一層の理解と支援を求めた。

8 厚生労働大臣感謝状の贈呈（資料-20～21 頁）

感謝状贈呈要綱に基づき、本田シズ子氏に感謝状を贈呈し、感謝表明を行った。

9 理事会等の開催状況

(1) 理事会

第41回理事会

開催年月日：令和6年5月21日（火）18時30分～19時20分

開催場所：日本リウマチ財団会議室

東京都港区新橋5-8-11 新橋エンタービル11階

（Web会議システム（Zoom）を用いたハイブリッド形式）

出席者数：理事8人、監事2人

議題：第1号議案 令和5年度事業報告に関する件
第2号議案 令和5年度決算に関する件
第3号議案 基本財産の一部処分に関する件
第4号議案 第14回定時評議員会の招集に関する件
その他
・理事長等の職務状況の報告に関する件
・令和6年度リウマチ月間行事等年間行事の件
・その他

第42回理事会

開催年月日：令和7年3月11日（火）18時30分～19時00分

開催場所：日本リウマチ財団会議室

東京都港区新橋5-8-11 新橋エンタービル11階

（Web会議システム（Zoom）を用いたハイブリッド形式）

出席者数：理事12人、監事2人

議題：第1号議案 令和7年度事業計画に関する件
第2号議案 令和7年度収支予算に関する件
第3号議案 第17回臨時評議員会の招集に関する件
その他
・理事長等の職務状況の報告に関する件
・その他

(2) 評議員会

第14回定時評議員会

開催年月日：令和6年6月18日（火）18時30分～19時10分

開催場所：日本リウマチ財団会議室
東京都港区新橋 5-8-11 新橋エンタービル 11 階
(Web 会議システム (Zoom) を用いたハイブリッド形式)
出席者数：評議員 16 人、理事 4 人、監事 1 人
議題：第 1 号議案 令和 5 年度事業報告に関する件
第 2 号議案 令和 5 年度決算に関する件
第 3 号議案 基本財産の一部処分に関する件
その他 ・ 令和 6 年度リウマチ月間行事等年間行事の件
・ その他

第 17 回臨時評議員会

開催年月日：令和 7 年 3 月 11 日 (火) 19 時 00 分～19 時 35 分
開催場所：日本リウマチ財団会議室
東京都港区新橋 5-8-11 新橋エンタービル 11 階
(Web 会議システム (Zoom) を用いたハイブリッド形式)
出席者数：評議員 14 人、理事 12 人、監事 2 人
議題：第 1 号議案 令和 7 年度事業計画に関する件
第 2 号議案 令和 7 年度収支予算に関する件
その他

(3) 評議員選定委員会

第 9 回評議員選定委員会

開催年月日：令和 6 年 9 月 3 日 (火) 15 時 30 分～15 時 30 分
開催場所：日本リウマチ財団会議室
東京都港区新橋 5-8-11 新橋エンタービル 11 階
出席者数：4 人
議題：評議員の退任・選任について
その他

10 物故者

元常務理事	越智 隆弘	令和 6 年 5 月 3 日逝去
前顧問	長屋 郁郎	令和 6 年 11 月 9 日逝去
顧問	山本 純己	令和 7 年 1 月 9 日逝去

11 総務報告 (資料-21～34 頁)

役員名簿、評議員名簿、委員会等の委員名簿とその活動状況、また当財団後援名義使用を許可した行事一覧、賛助会員 (法人、個人) などを取り纏めたものである。

12 附属明細書 (資料-35 頁)

該当事項はなし。